

平成 30 年 4 月吉日

患者様各位

琵琶湖大橋病院  
眼科センター長  
松本 慎司

陽春の候、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。いつも格別なお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先にご案内の通り、当院眼科センターでは医師の異動がございました。ここに改めて常勤医師のご紹介をさせていただきます。以前と変わらず、万全の態勢で良質な医療をご提供する体制を整えておりますので、引き続きご利用いただきますようお願い申し上げます。

◎新眼科センター長 紹介

松本 慎司

出身大学：京都府立医科大学 医学部 平成 16 年卒

経 歴：洛和会音羽病院、済生会中津病院、京都府立医大病院をへて平成 22 年より  
琵琶湖大橋病院眼科センターに常勤勤務

所属学会：日本眼科学会、日本眼科手術学会、日本網膜硝子体学会

認定資格：日本眼科学会専門医

外来担当：火曜日、金曜日、第 1,3,5 土曜日

◎新眼科センター部長 紹介

加藤 弘明

出身大学：京都府立医科大学 医学部 平成 16 年卒

経 歴：済生会滋賀県病院、国立長寿医療研究センター、京都府立医科大学大学院視  
覚機能再生外科学を経て、この度、琵琶湖大橋病院眼科センターに常勤勤務

所属学会：日本眼科学会、日本眼科手術学会、日本角膜学会、ドライアイ研究会

認定資格：日本眼科学会専門医

外来担当：月曜日、水曜日、木曜日

◎眼科センター長ご挨拶：

白内障、緑内障、網膜疾患、加齢黄斑変性症、眼瞼下垂症、翼状片、ドライアイ、結膜弛緩症など幅広い疾患の治療にあたっています。

当院には眼科専用手術室があり、顕微鏡はカールツァイス製で最も高性能な LUMERA700、手術機械は最も評価の高いインフィニティ（白内障用）とコンステレーション（硝子体手術用）を備えており、今後も随時世界最先端の機械に更新していきます。

手術は、極小切開白内障手術、広角観察システムを用いた極小切開低侵襲網膜硝子体手術、加齢黄斑変性症や黄斑浮腫の抗 VEGF 治療、眼瞼下垂手術、翼状片手術、結膜弛緩症手術等を行っています。点眼治療でも治らないドライアイの患者様には涙点プラグ治療を行っています。

京都府立医科大学のバックアップを受けて、常に最先端の技術を取り入れ患者様の負担の少ない治療を行っています。